科目名	心理学			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	本校作成テキスト		
履修の条件							
先生からの アドバイス	この授業を通して、お友達をつくる方法を見つけましょう。						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
観点の内容	評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない		
評価方法							

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	心理学について 授業の受け方	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
	5	心の発達 交流分析 探偵ゲーム			
	6	自分にあった学習 失恋から立ち直る			
	7	ストレスの仕組み			
	9	心と体			
後期	10	やる気はどこから スゴロクトーキング 聞き上手になろう			
	11	自己主張ができる			
	12	自分のこだわりとつきあう			
	1	助け合い それぞれの生き方			
	2	様々な障害 キャリアと進路選択			
	3	別れの花束			

科目名	心理学演習			単位数	1	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	本校作成プリント		
履修の条件							
先生からの アドバイス	人とかかわるということは、心理学の要素がいっぱいです。楽しい雰囲気の中で学んでいきましょう。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	心理学について 授業の受け方	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
	5	お互いを知る			
	6	表現を高める			
	7	アイディアを出す			
	9	これまでの復習 表現を高める			
後期	10	相手の意図を読む			
	11	身体表現力を伸ばす			
	12	聞く力を伸ばす			
	1	協力して課題を解く			
	2	アイディアを生かす 相手をより深く知る			
	3	まとめ			

科目名	着付け			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	入門初修課程実技編 (装道礼法きもの学院テキスト)		
履修の条件	履修可能人数２０名まで。						
先生からのアドバイス	実技を中心とした授業になります。必要なものは各自で準備することになります。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法を身に付けている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法・個々に合わせた着装について、適切に判断し、工夫し、創造する能力を身に付けている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法について関心を持ち、その充実向上を目指して、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法 学習状況等の観察	◎	◎	◎
評価方法 授業中の実技	△	△	△
評価方法			
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	ガイダンス 着物、小物準備 着物の着装説明	・着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法を身に付けている。	・着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法・個々に合わせた着装について、適切に判断し、工夫し、創造する能力を身に付けている。	・着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法について関心を持ち、その充実向上を目指して、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
	5	普段着の着装 反幅帯の結び方			
	6	外出着の着装			
	7	ゆかたの着装			
	9				
後期	10	名古屋帯の結び方 袋帯の結び方 礼装着の着装	・着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法を身に付けている。	・着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法・個々に合わせた着装について、適切に判断し、工夫し、創造する能力を身に付けている。	・着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法について関心を持ち、その充実向上を目指して、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
	11	名古屋帯の結び方 袋帯の結び方			
	12	御茶会			
	1	着付け			
	2	総合復習			
	3				

科目名	手話			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	茨城の手話　第一版改訂版　地名手話 （社団法人茨城県聴覚障害者協会）		
履修の条件							
先生からのアドバイス	手話表現を覚えることで、簡単な日常会話が手話でできるようになります。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		手話表現に関する基本的な知識と技術を理解する。日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、簡単な日常会話が手話でできる。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、その場に応じた適切な日常会話が手話でできる。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	手話を実際に使うことができるように意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	学習状況の観察	◎	◎	◎
	実技テスト	◎	◎	◎

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	日常・動きの表現 物の形・動きの表現 自己紹介	・手話表現に関する基本的な知識と技術を理解する。日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、簡単な日常会話が手話でできる。	・日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、その場に応じた適切な日常会話が手話でできる。	・手話を実際に使うことができるように意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
	5	名前 住所・県名 日常表現			
	6	天気 家族			
	7	趣味・スポーツ 数			
	9	自己紹介まとめ 手話コーラス			
後期	10	校歌練習	・手話表現に関する基本的な知識と技術を理解する。日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、簡単な日常会話が手話でできる。	・日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、その場に応じた適切な日常会話が手話でできる。	・手話を実際に使うことができるように意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
	11	会話の練習 疑問文			
	12	日常会話			
	1	手話表現 強調の表現			
	2	言葉の省略			
	3	まとめ			

科目名	社会福祉			単位数	1	履修区分	自由選択
対象の部		午後部		使用教科書 教材	産業社会と人間 (茨城県教育委員会)		
履修の条件	卒業年次でないことが望ましい。						
先生からのアドバイス	福祉に興味のある方にお勧めします。ボランティアに興味があるけれどもどうしたらよいかわからないといった場合に、ボランティアに参加する時の心構え等を学んだり、実技を行ったりします。授業に積極的に参加し、社会福祉について考える力を身につけてもらいたいです。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	社会福祉に関する諸問題の解決を目指して自ら考え、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断する能力を身に付けている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	社会福祉に関する問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むことができる。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。
評価方法 学習状況等の観察	○	○	◎
評価方法 提出物	○	○	◎
評価方法 定期考査など	◎	○	ー
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	社会福祉とは何か 社会福祉の意義 社会福祉の概念	・社会福祉に関する基礎的、基本的な法律を理解している。社会福祉に関する基本的な法律を理解し家庭生活などに生かすことができる。	・社会福祉に関する問題の解決を目指して、基礎的、基本的な知識を活用して適切に判断する能力を身に付けている。	・社会福祉に関する問題について関心をもち、意欲的に取り組むことができる。
	5	社会福祉の原理 社会福祉と社会保障 介護・保育実践と社会福祉			
	6	社会福祉を支え、創る人々 ボランティア活動とは			
	7	ボランティア活動 ボランティアの心			
	9	基本的な介護技術 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ			
後期	10	ベッドメイキング シーツ交換	・基本的な介護技術に関する基礎的、基本的な知識を身に付け、介護技術の意義や役割を理解している。	基本的な介護技術に関して、基礎的、基本的な知識や技術を活用して場に応じ適切に判断する能力を身に付けている。	・基本的な介護技術について関心をもち、意欲的に取り組むことができる。
	11	食事介助			
	12	着替え			
	1	高齢者の疾病 身体的な特徴			
	2	高齢者の死活障害 障害者の心理			
	3	障害者の心理とは 障害者の生活			

科目名	ヨーガ			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部		午後部		使用教科書 教材	これ1冊できちんとわかるヨガ (マイナビ出版)		
履修の条件	履修可能人数30名まで。						
先生からのアドバイス	体育時着用のジャージで受講してください。 一年間を通して基本的なヨーガの呼吸法やアーサナ(ヨーガのポーズ)、瞑想を学びます。自分のペースで無理せず体を動かしていきます。柔軟性を高めたい人、ヨーガを体験してみたい人は是非履修してみてください。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	ヨーガ1	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
	5	ヨーガ2			
	6	ヨーガ3			
	7	ヨーガ4			
	9	ヨーガ5			
後期	10	ヨーガ6			
	11	ヨーガ7			
	12	ヨーガ8			
	1	ヨーガ9			
	2	ヨーガ10			
	3	ヨーガ11			

科　目　名	社会人基礎			単位数	1	履修区分	自由選択
対　象　の　部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教　材	最新版　楽しく学べるマナーの基本 （教育図書）		
履　修　の　条　件							
先生からの アドバイス	社会人としてのマナーと家庭生活の中で知っておきたいマナーについて学習します。						

評　価　の　観　点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観　点　の　内　容		評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
評価方法				

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	オリエンテーション 働くことの責任とその意義 身だしなみの基本	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
	5	美しい立ち居振る舞い 敬語の使い方			
	6	小テスト① 面接のマナー			
	7	自己アピールの書き方			
	9	手紙の書き方			
後期	10	電話のかけ方 着装のマナー 小テスト② クレジットカード			
	11	契約 箸遣いの基本			
	12	食文化のマナー 小テスト③			
	1	給与明細表の見方 1人暮らしをする場合			
	2				
	3				

科　目　名	ベーシック社会			単位数	2	履修区分	自由選択
対　象　の　部	午前部	午後部		使用教科書 教　材		これでわかる中学社会40 (文英堂)	
履　修　の　条　件	旧科目「時事問題」単位修得者は履修不可						
先生からの アドバイス	中学社会の地理・歴史・公民各分野の既習事項を学び直し、高校社会の科目を学ぶにあたっての基礎的な学力の定着を図ります。社会を苦手に感じている人におすすめです。						

評　価　の　観　点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観　点　の　内　容		現代社会の地域的特色や日本及び世界の歴史の展開、政治、経済などに関する現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切にかつ効果的に調べまとめている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、現代の諸課題について、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断している。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、地理・歴史に関わる諸事象や現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 A評価：評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価：評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価：評価基準の全項目について、身に付いていない。
評価方法	学習状況の観察	ー	ー	◎
	プリント	○	○	◎
	提出物	△	△	△
	定期考査	◎	◎	ー

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	【地理】 地球のすがた 世界と日本のすがた	・地球儀やさまざまな図法の地図から現代社会の姿を読みとり、地理情報システムの役割を理解している。 ・世界の国々の結び付き方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。 ・自然環境や社会環境を背景に、生活文化の相互関係を見出すための、地理的見方・考え方を身に着けている。	・地図の特徴、地理情報システムの利用について、多面的多角的に考察し、表現することができる。 ・国家の領域、領土問題、交通、通信、人の移動について、地図を通して多面的多角的に考察し表現することができる。 ・地形、気候、産業の発展歴史など生活文化の多様性はどのように形成されたか多面的・多角的に考察し、表現することができる。	・目的に応じた地図や地理情報システムの利活用について、主体的に追究し、課題を見出すことができる。 ・国家の領域、領土問題、交通、通信、人の移動について、地図を通して主体的に追究し、課題を見出すことができる。 ・多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見出すことができる。
	5	日本の都道府県 地形図の読み取り 定期考査　①			
	6	世界と日本のすがた 世界と日本の気候			
	7	定期考査　② 世界と日本の人口・資源 世界の自然環境と都市			
	9	【歴史】 時代区分、世界の古代文明、縄文時代の～飛鳥時代	・日本の原始、古代の社会と文化について、東アジア世界の動向とも関連付けて理解している。 ・武家政権の成立から展開について、世界史的視野に立って理解している。開国後の日本がどのように近代化を進めたのかを理解している。第二次世界大戦に突き進んだ日本の、国内の動向や世界情勢を理解している。 ・戦後の日本の復興や現代に繋がる問題について理解している。インターネットや映像資料等から有用な情報を活用している。 ・資料集、地図帳、年表等を活用して学ぶことが出来る。	・東アジアからもたらされた制度や文物が大きく影響していることに留意し、日本の原始古代の国家　社会　文化の形成について総合的に考察することができる。 ・武士が政治力をつけていく過程を国内諸地域の地理的条件とも関連付けて考察することができる。 ・ヨーロッパ世界との接触とその影響、鎖国などの対外関係について多面的に考察することができる。 ・開国後の近代日本の歩みを当時の国際環境と関連付けて考察し表現することができる。 ・軍国主義化していく日本の動向と世界情勢について多角的・多面的に考察し表現している。戦後の民主化と復興、経済の発展と現代の日本の諸課題について考察し表現することができる。	・「原始古代の日本」「武家政権の成立から展開」等について、興味、関心を持ち意欲的に学ぼうとしている。 ・「ペリー来航から明治時代」「満州事変から第二次世界大戦への日本の動向」「戦後から現在に至る戦後史」等について興味、関心を持ち意欲的に学ぼうとしている。
後期	10	奈良時代～鎌倉時代 室町時代～安土桃山時代 定期考査　③			
	11	江戸時代 欧米の近代革命と明治時代			
	12	大正時代～昭和時代① 昭和時代②～現在			
	1	【公民】 わたしたちの人権と日本国憲法 定期考査　④	・自らの体験や対話を通して自己を見つめ、人間としての在り方生き方を理解するとともに、他者を尊重し、多様な価値観を認め合う姿勢を身に付けている。 ・公共的な空間における基本原理や、幸福や公正を重視する考え方を理解し、自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することの意義を理解している。 ・資料を活用して情報を収集、整理する技能を身に付けている。	・社会に参画する自立した主体、人間としての在り方生き方、個人と社会との関わりについて、多面的、多角的に考察し、表現することができる。	・公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方、公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	2	わたしたちの政治と経済 わたしたちと経済			
	3	わたしたちと国際 わたしたちと現代社会			

科目名	総合的な探究の時間１			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	本校作成プリント		
履修の条件							
先生からの アドバイス	探究の手法を学んだうえで、学校生活を通して自分自身を見つめるとともに、周囲の人々との関わりについて考える機会にしましょう。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4		評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
	5	2年次生から発表			
	6				
	7				
	9	探究とは テーマ探し			
後期	10				
	11				
	12	進路について			
	1				
	2	発表準備 発表練習			
	3				

科目名	総合的な探究の時間２			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	本校作成プリント		
履修の条件							
先生からのアドバイス	自己理解を深めることで、社会との関わり方を考えてみましょう。そこから、進路実現の方法を探してみましょう。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	探究学習の継続	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
	5				
	6				
	7				
	9				
後期	10	発表準備 発表練習			
	11				
	12				
	1				
	2				
	3				

科目名	総合的な探究の時間３			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	本校作成プリント		
履修の条件							
先生からの アドバイス	希望進路を具体化し、進路実現に向けて実践に取り組んでみましょう。さらには、社会に出る前の準備をしましょう。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	面接問答集	評価を行わない	評価を行わない	評価を行わない
	5	志望動機の書き方			
	6	求人票の見方			
	7	見学先を選ぶ			
	9	面接練習			
後期	10	入社試験 入試対策			
	11				
	12	着こなし講座 マナー講座			
	1				
	2	進路体験談（４修生）			
	3	１年間のまとめ （４修生）			